青葉区民
防災必携
～横浜市浸水ハザードマップ～

青葉区民防災必携は、台風や大雨の際の「内水」、「洪水」、「土砂災害」の各危険箇所や、避難情報の内容等を記載した横浜市浸水ハザードマップと、大地震が発生した際の避難行動や、自宅の安全対策等について、一つにまとめたものです。
大地震や風水害による危険を事前に把握し、日ごろからご家族や地域の方と話し合うことでいざという時に備えましょう。

2022年度 第2版

災害時の避難行動 ～自宅や周辺の状況により、避難行動は変わります～

大地震発生

自宅が倒壊や火災の恐れがあり危険な場合は、まず安全な場所に避難しましょう。危険がない場合は、あえて避難する必要はありません。

青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」

自宅

余震が心配。どこに避難したらよいの？

- 自宅で安全を確保できる場合 → 自宅
- 身の安全の確保 → 一時的に様子を見る → いっとき避難場所
- 倒壊や火災で自宅に戻れない場合 → 地域防災拠点
- 避難所生活が困難な方は → 福祉避難所

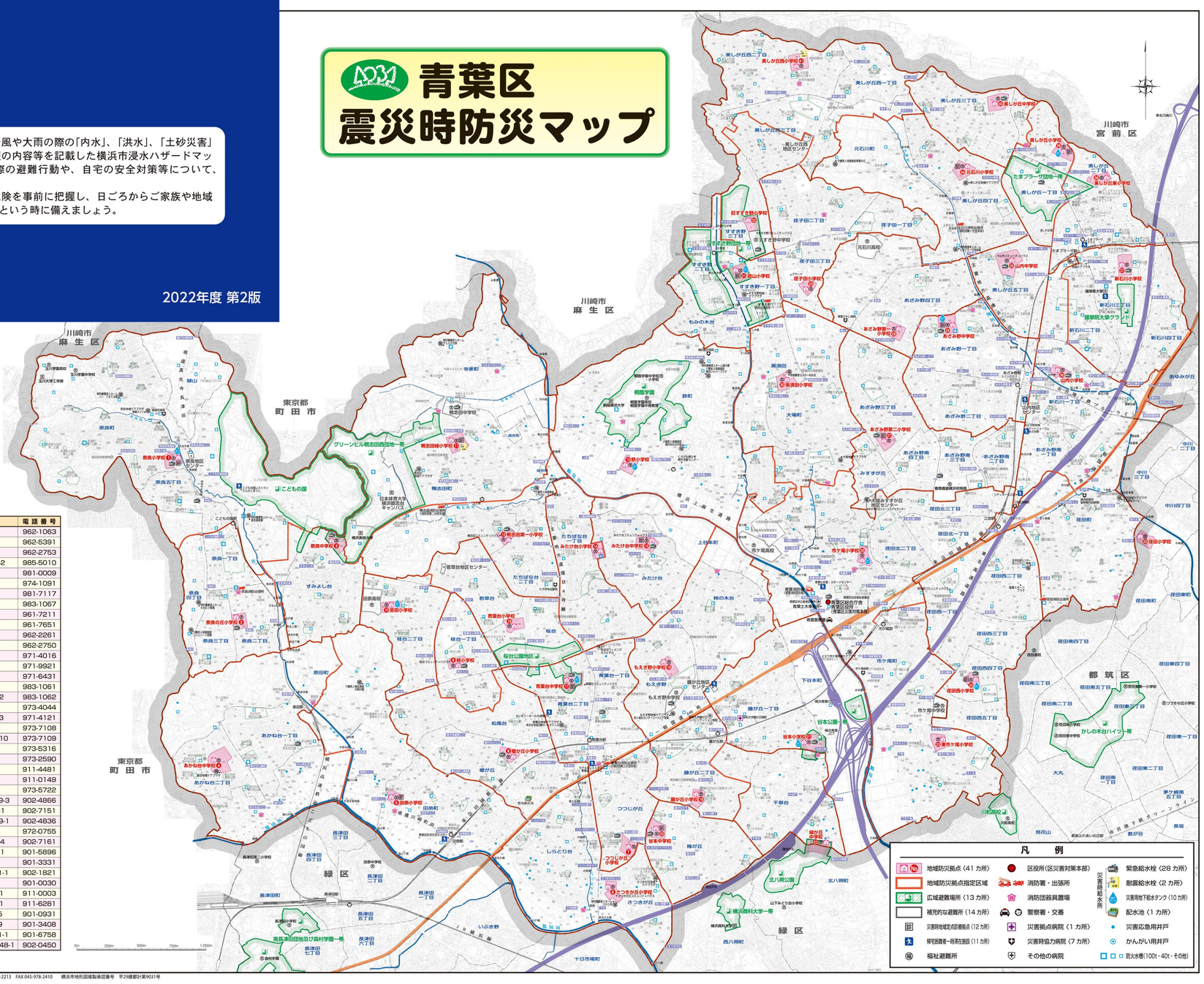
いっとき避難場所
身の安全を確保し、様子を見るために一時的に避難する場所
避難の必要があるときは、自治会・町内会等、地域で取り決めている避難場所等にひとまず行きましょう。

地域防災拠点
自宅で生活できない人が避難生活をする場所
- 市内１か所でも震度５強以上を観測した場合に開設
- 最低限の水や食料、救助活動に必要な資機材などを保管しています。
- 地域防災拠点での避難生活は避難者による相互扶助によって運営します。

広域避難場所
地震によって大火災が発生した場合に、火や煙から身を守るために一時的に避難する場所

福祉避難所
高齢者や障害者などのうち、避難生活で特別な配慮が必要である人のための二次的な避難場所

青葉区 震災時防災マップ



広域避難場所

名　称
こどもの国
グリーンヒル鴨志田西団地一帯
桜台公園地区
桐蔭学園
すずき野団地一帯
たまプラーザ団地一帯
國學院大学グランド
かしの木台ハイツ一帯
川和高校
横浜商科大学一帯
南長津田団地及び森村学園一帯
谷本公園一帯
北八朔公園

地域防災拠点一覧

No	地域防災拠点名		所　在　地	電話番号
区①	奈良小学校	青葉区	奈良町1541-2	962-1063
②	奈良の丘小学校		奈良二丁目29-1	962-5391
③	奈良中学校		すみよし台36-3	962-2753
④	あかね台中学校		あかね台二丁目8-2	985-5010
区⑤	田奈小学校		田奈町51-13	981-0009
⑥	さつきが丘小学校		さつきが丘8	974-1091
⑦	つつじが丘小学校		つつじが丘34	981-7117
⑧	榎が丘小学校		榎が丘29	983-1067
⑨	桂小学校		桂台一丁目4	961-7211
⑩	恩田小学校		桂台二丁目36	961-7651
区⑪	鴨志田緑小学校		鴨志田町532	962-2261
⑫	鴨志田第一小学校		鴨志田町805-6	962-2750
⑬	鉄小学校		鉄町427	971-4016
⑭	みたけ台小学校		みたけ台18	971-9921
区⑮	みたけ台中学校		みたけ台30	971-6431
⑯	青葉台小学校		桜台47	983-1061
区⑰	青葉台中学校		青葉台二丁目25-2	983-1062
⑱	もえぎ野小学校		もえぎ野16	973-4044
⑲	藤が丘小学校		藤が丘二丁目30-3	971-4121
区⑳	谷本中学校		梅が丘5	973-7108
㉑	谷本小学校		藤が丘一丁目55-10	973-7109
㉒	緑が丘中学校		千草台50-1	973-5316
㉓	東市ケ尾小学校		市ケ尾町519	973-2590
区㉔	荏田西小学校		荏田西四丁目5-1	911-4481
㉕	荏田小学校	都筑区	荏田南町694	911-0149
㉖	市ケ尾小学校	青葉区	市ケ尾町1632-1	973-5722
区㉗	あざみ野第二小学校		あざみ野三丁目29-3	902-4866
㉘	あざみ野第一小学校		あざみ野四丁目6-1	902-7151
区㉙	あざみ野中学校		あざみ野一丁目29-1	902-4836
㉚	黒須田小学校		黒須田34-1	972-0755
区㉛	鉄山小学校		すすき野一丁目6-4	902-7161
㉜	旧すすき野小学校		すすき野三丁目4-1	901-5896
㉝	荏子田小学校		荏子田三丁目8-9	901-3331
区㉞	元石川小学校		美しが丘四丁目31-1	902-1821
㉟	山内中学校		美しが丘五丁目4	901-0030
㊱	山内小学校		新石川一丁目20-1	911-0003
㊲	新石川小学校		新石川三丁目12-1	911-6281
㊳	美しが丘東小学校		美しが丘二丁目25	901-0931
区㊴	美しが丘小学校		美しが丘二丁目29	901-3408
㊵	美しが丘中学校		美しが丘三丁目41-1	901-6758
㊶	美しが丘西小学校		美しが丘西二丁目48-1	902-0450

大谷製図

横浜市青葉区役所総務課　〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町31-4　電話 045-978-2213　FAX 045-978-2410　横浜市地形図複製承認番号　平29建都計第9031号

災害時の情報収集

青葉区防災情報専用ダイヤル
地震や台風などの緊急情報や避難所の開設情報などを、音声案内にてお知らせします。
災害時に必要な情報をすぐに入手できるので、お問い合わせの際はこの番号をご利用ください。
TEL 050-3627-5800
番号を電話帳に登録しておけば、すぐに情報を確認出来るから、いざという時も安心だね！

災害用伝言ダイヤル
災害時に被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

ご利用方法
＊「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をおこなってください。
＊録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っている全ての方が聞くことができます。

171 をダイヤル → 録音の場合は 1 をダイヤル／再生の場合は 2 をダイヤル → 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル → 録音 1 をダイヤル 再生 → 9 を入力

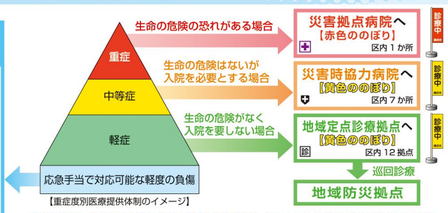
スマートフォンアプリによる情報伝達
緊急情報発信時は、待受中でもアラーム音と共に文字によるプッシュ通知を行います。また、災害・緊急情報だけでなく、平常時には、イベント情報等も配信するほか、インターネットラジオ（FMサルース）を聴くアプリとしても利用することができます。
ぜひダウンロードしてください。
二次元コード

お問合せ先（平常時）

お問合せ内容		取り扱い部署	電話番号
地域防災・避難等に関すること		青葉区役所総務課	978-2213
人命救助・救急に関すること		青葉消防署	974-0119
道路・下水道・公園に関すること		青葉土木事務所	971-2300
崖に関すること		横浜市建築局建築防災課	671-2948
交通規制に関すること		青葉警察署	972-0110
河川	国管理区間の河川に関すること	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所	503-4000
河川	県管理区間の河川に関すること	神奈川県横浜川崎治水事務所	411-2500
河川	市管理区間の河川に関すること	横浜市道路局河川管理課	671-2855
内水	内水に関すること	横浜市環境創造局下水道事業マネジメント課	671-2838
洪水・高潮ハザードマップ全般について		横浜市総務局危機管理室地域防災課	671-2011
内水ハザードマップ全般について		横浜市環境創造局下水道事業マネジメント課	671-2838

災害時の医療体制

区民の自助・共助による応急手当
医師の診療を必要としない極めて軽度の負傷は、自助・共助による応急手当を行ってください。
なお、全ての地域防災拠点に応急手当用品（消毒液、包帯、ばんそうこうなど）が配備されています。



【重症度別医療提供体制のイメージ】
※おくすり手帳は緊急治療時などにも役立ちます。災害避難時にも必ずお持ちください。

要援護者の方は
○ あおば災害ネット
あおば災害ネットは、災害発生時に一人では避難が困難な高齢者や障害のある人（災害時要援護者）に近隣の助け合いが行えるよう、あらかじめ要援護者の情報を登録し、共有するためのシステムです。
登録は地域の担当民生委員にお申込みください。

自宅の安全対策

● **わが家を守ろう**…災害時に自宅の生活空間を守るためにも、家の中の安全対策は不可欠です。家の中を点検し、必要な対策をしましょう。

○ 在宅避難とは
地域防災拠点（指定避難所）は、家屋倒壊等で自宅で生活することが困難な方が避難生活をする場所です。そのため、自宅が無事だった方は、避難所には行かずそのまま自宅で生活（在宅避難）をします。
避難所では災害発生直後、プライベートな空間を確保することが難しく、環境の違いによって非常にストレスのたまる生活をしなければなりません。そのため、自宅でしっかり備蓄することや、家の中の安全性を高めることで、在宅避難をできるようにすることが大切です。
※ただし区役所からの様々な情報や食料などは、地域防災拠点に届けられるので、これらは「地域防災拠点の避難者」と「在宅避難者」で共有します。

横浜市
浸水ハザードマップ（青葉区）

保存版

● 浸水ハザードマップの使い方 ●

スタート
「1 情報の入手方法と日頃からの備え」をご覧ください
浸水想定区域以外の方も、日頃から浸水に備えておくことが重要です。

あなたのお住まいや職場で浸水が発生するおそれはありますか？
「内水ハザードマップ」（下水道や水路からの浸水）
「洪水ハザードマップ」（河川氾濫による浸水）
の、浸水想定区域を確認しましょう。

「内水ハザードマップ」「洪水ハザードマップ」の浸水想定区域となっている方
⇒「2 内水氾濫と洪水（河川氾濫）の発生について」をご覧ください。

マイ・タイムラインを作成しよう
マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画です。

横浜市　令和4年5月発行

1 情報の入手方法と日頃からの備え

ハザードマップを使って、お住まいの地域の危険度を把握し、適切なタイミングで避難行動を起こせるよう、日頃から情報収集をしましょう。

自動配信されるもの（PUSH型）
- **横浜市避難ナビ　要事前登録**
  マイ・タイムラインの作成から避難所検索、災害時の避難情報の受信などができます。➡
- **横浜市防災情報Eメール　要事前登録**
  あらかじめ登録したパソコン・携帯電話に防災情報等が配信されます。➡
- **防災アプリ　要事前登録**
  「Yahoo! 防災速報」アプリをインストールしていただくことで、横浜市からの防災情報等をスマートフォン等で受信できます。　アプリをインストール➡
- **ファックス**
  聴覚障害者の方の自宅（要事前登録）、洪水浸水想定区域内の要援護者施設等の事業所に配信します。
- **緊急速報メール**
  緊急速報メールに対応した携帯電話に配信されます。
- **親水拠点警報装置（設置のない区もあります。）**
  屋外スピーカーからの音声放送やサイレンにより、災害発生の危険性や避難情報等をお知らせします。
- **緊急警報放送**
  テレビ・ラジオ等から警報音を発し、重要かつ緊急な災害情報を放送します。
- **広報車等による広報**
  状況に応じて、必要な地域へ広報車が出動します。
  また、職員を派遣したり、消防局ヘリコプターを出動させることもあります。

自身で情報収集するもの（PULL型）
- **ホームページ**
  - **横浜市　防災情報**　気象警報や河川の水位、潮位等を確認することができます。　横浜市　防災情報　検索
  - **防災情報ポータル**　避難指示の状況及び避難所の開設状況を確認することができます。　防災情報ポータル　検索
  - **降水ナウキャスト**　現在の雨雲の動きや今後の動きを確認することができます。　ナウキャスト　検索
- **横浜市トップページ（緊急情報）**
- **Twitter（横浜市防災ツイッター）　@yokohama_saigai**
- **テレビ（ケーブルテレビ、データ放送など）　●ケーブルテレビ　●データ放送**
- **tvk（テレビ神奈川）データ放送　●ラジオ（コミュニティFMなど）　●コミュニティFM放送**

ハザードマップで自宅と避難場所を確認しよう
- 自宅付近が浸水したときにどのくらいの水深になるかを確認しましょう。
- 自宅から避難場所までの複数の道順や方向を、ハザードマップに書き込みましょう。
  なお、災害の状況により、開設する避難場所は異なります（ハザードマップ参照）。避難する際は、市・区ホームページ等で開設している避難場所を確認してください。
- 地域では、このハザードマップを活用した訓練を行い、災害時の適切な行動につなげましょう。

避難時の持ち出し品を確認しよう
- 避難時の持ち出し品は日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 持ち出し品はできるだけ少なくしましょう（ラジオ、飲料水、懐中電灯、医薬品、ベビー用品、マスクなど）。また、リュックサックなど、両手があくものに収まる程度にしましょう。
- 避難場所には食料、水、タオルなど、必要なものを持参しましょう。

側溝や雨水ますを点検しよう
- 側溝や雨水ますをふさがないようにしましょう。
- 雨水ますの吸い込み口が落ち葉やごみで詰まると、道路浸水などの原因になります。
- 雨水ますやL型側溝の上に車乗り入れブロックなどを置かないようにしましょう。

浸水に備えよう
- 家にあるもので浸水を防ぎましょう。土のうやプランター、家庭にあるごみ収集袋などを利用した水のうなどを使って浸水を防ぐことができます。
- 大雨の際には、洗濯機、トイレ、風呂場の排水口など思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口を水のうなどでふさぎましょう。

家庭でできる浸水防止対策の一例
- ごみ袋（45ℓ）を二重にし、中に半分くらい水を入れ、水のうを作ります。
- 水のうは段ボール箱に詰めることで、強度が増します。
- 水のうと長めの板などを組み合わせて、浸水を防ぎます。
- プランターをならべ、レジャーシートで包み浸水を防ぎます。

避難の考え方
- 身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

安全な場所へ避難（水平避難）
（避難場所㊙、近くの高台、土砂災害警戒区域外及び浸水想定区域外の親戚の家など）
※すべての避難場所を開設するわけではありません。（ハザードマップ参照）避難する前にどの避難場所が開設されているか、市・区ホームページ等で確認してください。

隣近所へ声をかけ合おう
ご高齢の方、子ども、障害のある方などは避難に時間を要するため、早めの避難が必要です。地域の皆さんで協力し合って安全に避難しましょう。

頑丈な建物の2階以上または、近隣の高い建物へ避難（垂直避難）
浸水深が浅くても水の流れによっては歩行が困難となります。無理をして屋外へ避難せず、高所へ垂直避難をしましょう。

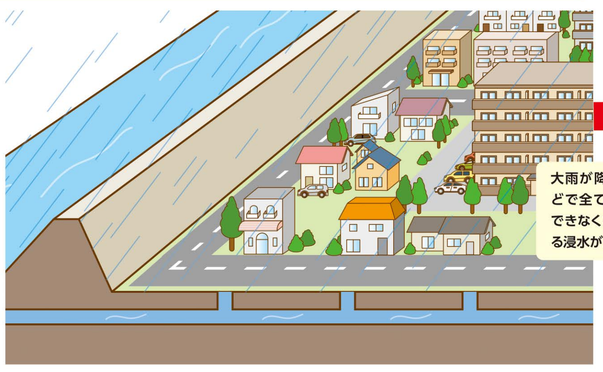
建物内の少しでも安全な場所へ退避
（夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難するとかえって危険な場合）
上層階や斜面の反対側などへ

安全な経路で避難しよう
河川沿いや急傾斜地（崖）沿いの道は避けて避難しましょう。
大雨により、側溝やマンホールの蓋が外れている場合があるので、転落しないよう十分に注意して、近寄らないようにしましょう。

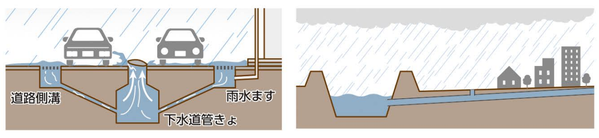
地下街・地下施設の浸水は危険です
浸水の危険性があると感じたときは、速やかに地上階に避難しましょう。
地上が浸水すると、気づかないうちに水が流れ込んできます。
30～50cm程度の浸水でも水圧でドアが開けません。

この印刷物は、グリーン購入法に準拠しています。

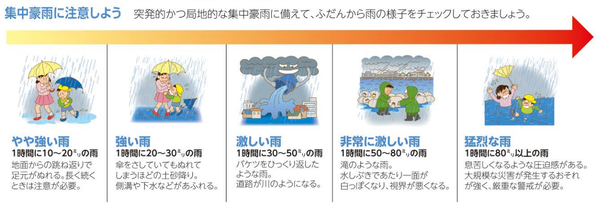
2 内水氾濫と洪水（河川氾濫）の発生について



宅地に降った雨は雨水ますへ、道路に降った雨は道路側溝などに集まり、下水道や水路等を通って河川に排水されます。

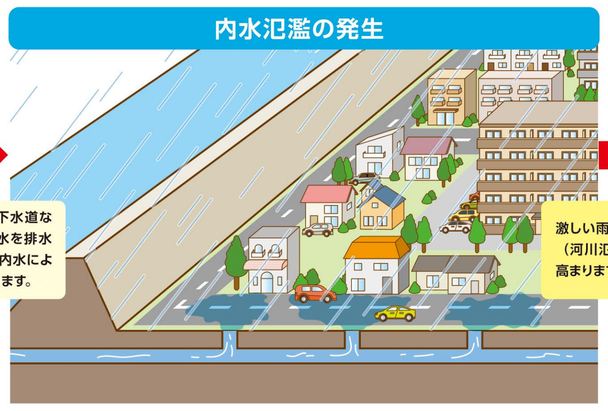


大雨のときはこんな点に注意しよう
集中豪雨に注意しよう　突発的かつ局地的な集中豪雨に備えて、ふだんから雨の様子をチェックしておきましょう。

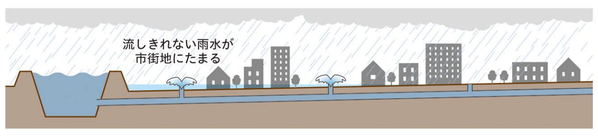


やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10～20㎜の雨	1時間に20～30㎜の雨	1時間に30～50㎜の雨	1時間に50～80㎜の雨	1時間に80㎜以上の雨
地面からの跳ね返りで足元がぬれる。長く続くときは注意が必要。	傘をさしていてもぬれてしまうほどの土砂降り。側溝や下水などがあふれる。	バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになる。	滝のような雨。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

内水氾濫の発生



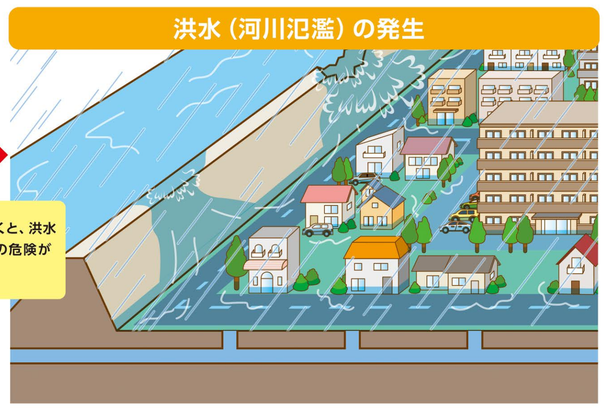
内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。



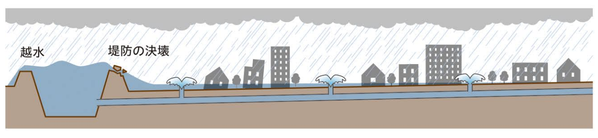
内水ハザードマップとは？
内水氾濫によって想定される浸水区域や浸水深などの情報をまとめたマップです。また、この内水ハザードマップは、河川の堤防を越えて水があふれることも表現していますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水ハザードマップも併せてご覧ください。
横浜市では1時間あたりの雨量が50mm～60mmに対応する下水道整備を進めています。内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、市民の皆様に日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

想定降雨　1時間で153mmの降雨

洪水（河川氾濫）の発生



洪水（河川氾濫）とは、大雨によって河川などの水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。
家屋の倒壊や流出など、大規模な被害を引き起こします。



洪水ハザードマップとは？
洪水（河川氾濫）によって想定される浸水区域や浸水深などの情報をまとめたマップで、浸水が想定される区域の皆様に速やかに避難していただくために作成したものです。
河川上流域にのみ雨が降っている場合など、雨の降り方によっては、内水氾濫より前に洪水（河川氾濫）が発生することもありますので、気象情報や河川水位にご注意ください。

想定降雨　鶴見川水系：2日間で792mmの降雨

避難情報がでたら
●身の危険を感じる場合は避難を開始してください。
（1情報の入手方法と日頃からの備えの「避難の考え方」もお読みください）

警戒レベル	発令者	とるべき行動	避難情報（横浜市）	気象情報（気象庁）【警戒レベル相当情報】	水位情報（神奈川県）【警戒レベル相当情報】
警戒レベル5	横浜市	【命の危険　直ちに安全確保！】●災害が発生・切迫しており、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保	大雨特別警報 等	氾濫発生情報
警戒レベル4	横浜市	【危険な場所から全員避難】●直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。●避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。	避難指示	土砂災害警戒情報 等	氾濫危険情報
警戒レベル3	横浜市	【危険な場所から高齢者等は避難】●避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は、安全な場所へ避難を開始する。●その他の人は、家族などと連絡、持ち出し品の用意など、避難の準備を開始するとともに、危険だと思ったら早めに避難する。	高齢者等避難	・大雨警報（土砂災害）・洪水警報 等	氾濫警戒情報
警戒レベル2	気象庁	【自らの避難行動の確認】●避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認する。●避難情報の把握と、避難手段の確認をする。	—	大雨・洪水注意報 等	氾濫注意情報
警戒レベル1	気象庁	【災害への心構えを高める】●防災気象情報等の最新情報に注意する。	—	早期注意情報	—

※警戒レベル4までに必ず避難！
※天候や水位の急変時には、高齢者等避難を経ず避難指示を発令することがあります
※警報等が解除されても、河川の水位情報等には注意してください。